

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (近畿)	◎	百貨店（企画担当）	・通常営業ができていることを前提とすれば、良くなる。
	◎	百貨店（外商担当）	・高齢者への新型コロナウイルスのワクチン接種が山場を越えれば、一気に客の購買動向は好転すると予想される。
	◎	家電量販店（人事担当）	・巣籠り消費は既に一巡したといわれるが、かつての家電エコポイント制度による購入から10年が経過し、買換え需要が出てくると期待している。
	◎	通信会社（社員）	・地域のブロードバンドサービスの普及状況はほぼ頭打ちであるが、その他のメニューの販売は伸びている。また、ブロードバンドサービスの高齢者による利用増加なども考えると、まだ成長のポテンシャルはある。
	◎	競輪場（職員）	・緊急事態宣言が解除か緩和となれば、販売が可能となるため、今よりも良くなる。
	○	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・緊急事態宣言は発出中であるが、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでおり、飲食店の営業再開が期待される。
	○	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・緊急事態宣言が解除され、ある程度は安定した売上が見込める状態になることを期待したい。
	○	百貨店（売場主任）	・休業要請はこれ以上続かないため、今よりも売上は回復すると予想している。ただし、百貨店も厳しい状況にあるが、取引先の一部は更に厳しい状況となっている。それに伴い、前年に続いて倒産のほか、事業の廃止や撤退、取引条件の見直し要請などの増加が予想されるため、厳しい状況が続く。
	○	百貨店（特選品担当）	・休業要請が解除されれば、今の状況よりも間違いなく改善される。
	○	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、緊急事態宣言も緩和されて人流がやや戻れば、売上は増えてくると予想される。また、美術品や時計、宝飾品などは、株高もあって既に堅調に推移しており、この部分も更に活発化してくる。
	○	百貨店（売場マネージャー）	・緊急事態宣言による新型コロナウイルスの感染者数の減少や、ワクチン接種の促進により、景況感の改善が予想される。
	○	百貨店（販売推進担当）	・緊急事態宣言が解除されていることを期待する。
	○	百貨店（外商担当）	・5月下旬から、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいる。7月に予定どおり高齢者へのワクチン接種が完了すれば、かなり景況感は改善し、消費意欲も高まることが予想される。
	○	百貨店（店長）	・7月末までに高齢者への新型コロナウイルスのワクチン接種が終わり、東京オリンピックも無事に開催されれば、経済は回るはずである。
	○	百貨店（商品担当）	・3度目の緊急事態宣言は、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大などで当初の予定から延長となり、解除の時期が見通せない。一方、中旬からはワクチンの供給と接種が進み始め、少し明るい兆しが見え始めている。景気の回復にはしばらく時間を要するものの、これまでの反動で上向きの動きが出てくると予想される。
	○	百貨店（販促担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が少し進むことで、感染者数は余り増えず、現状よりも改善に向かうと予想される。派手な購買行動はないにしても、自粛が長く続いた反動で、消費の拡大も期待できる。特に、食に関するちょっとしたぜいたくや、夏の機能性商材などは良い動きが期待できる。
	○	百貨店（売場マネージャー）	・全国的に緊急事態宣言が延長となる可能性はあるが、当県は新型コロナウイルスのワクチン接種率が高いため、百貨店の主要客層である、65歳以上の客の来店頻度が高まる可能性がある。
○	百貨店（マネージャー）	・海外需要は回復傾向にあるが、国内の消費回復は、全て新型コロナウイルスのワクチン接種が鍵となる。	
○	百貨店（サービス担当）	・緊急事態宣言に伴う要請事項が6月から緩和され、前年のような営業が可能となるため、今よりも良くなる。催事場の運営は今後の課題であるが、お中元ギフトなどの集客も今後は良くなる。	

○	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いても、東京オリンピック以降は明るい材料がなく、景気刺激策が重要となる。ただし、人の移動制限がなくなったときに、消費は一時的に増えるため、今よりも良くなると予想される。
○	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、人の流れが出てくると予想される。
○	スーパー（店員）	・競合店対策を進め、お買い得品を毎日用意することで、少しずつ販売数も増えてきている。このまま続けていけば、売上も上がってくると予想される。
○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの高齢者へのワクチン接種が終われば、動きが出てくると感じる。
○	コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、商業施設の営業時間や運営状況も元に戻れば、人の流れが変わる。今は、消費者が動きを控えているだけである。
○	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言が解除されるため、自然に景気は上向く。
○	家電量販店（店員）	・夏に向けて、エアコンや冷蔵庫の需要が更に高まる。忙しくなり、景気は上向く見込みである。
○	家電量販店（店員）	・生活必需品であるエアコンや冷蔵庫、洗濯機は、ステイホーム中も利用が多く、省エネ家電を中心に販売が好調である。梅雨入りも例年より早く、季節商材の動きも活発化していくことが予想される。
○	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んで、経済活動が元に戻り、生活も元の状態に戻れば、少し景気は良くなる。
○	乗用車販売店（販売担当）	・生産の回復により、これから先は販売できる新車の増加が見込まれる。
○	その他専門店 [医薬品]（管理担当）	・緊急事態宣言の延長により、外出の抑制はあるものの、新型コロナウイルスのワクチン接種の開始や東京オリンピックの開催など、景気のプラス要素もみられる。大幅な改善は期待しにくい、緩やかな回復が予想される。
○	その他専門店 [ガソリンスタンド]（経理担当）	・東京オリンピックの開催で、やや良くなる。
○	その他小売 [インターネット通販]（経営者）	・客は新型コロナウイルスに慣れており、高齢者の多い商店街でも人出が増え、活発に営業している店やスーパーなどへ買物に出掛けている。
○	高級レストラン（スタッフ）	・緊急事態宣言が解除され、制限付きでも酒類の販売が解禁となれば、期待がもてる。
○	高級レストラン（企画）	・緊急事態宣言の解除やGo To Travelキャンペーンの再開、地域観光の振興補助の開始により、改善に向かうことが予想される。
○	一般レストラン（企画）	・新型コロナウイルスの感染者数の減少や、ワクチンの接種により、徐々に経済活動が活発化すると予想される。景気がこれ以上悪くなることはなく、徐々に良くなっていく。
○	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の遅れにより、高齢者の会合がキャンセルとなっている。キャンセルの理由にワクチンがよく出されるため、今後の接種の増加に期待している。一方、レストランのランチ利用は好調であるが、ディナーは横ばいと予想されるほか、宿泊も需要が少なく、日中利用のプランを販売しているが、他社も格安で販売しているため、なかなか難しい。
○	都市型ホテル（販売促進担当）	・客室、飲食部門については、今までの緊急事態宣言では解除後に動きが見られたが、今回は新型コロナウイルスのワクチン接種の状況次第でもある。3か月や半年先の会議室の予約にもキャンセルが入っているため、2～3か月先はそれほど明るいものではない。
○	都市型ホテル（総務担当）	・3か月後には緊急事態宣言も解除となっているほか、7月中には高齢者への新型コロナウイルスのワクチン接種がほぼ終了すると予想される。その状況になれば、ビジネス、レジャー共に宿泊客が増えるほか、レストランの利用の多数を占める、高齢者の利用が増える。
○	都市型ホテル（フロント）	・緊急事態宣言は延長の見込みであるが、各種の制限が緩和傾向にあるため、ビジネスでの人の流れは徐々に回復すると予想される。
○	旅行代理店（役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、旅行費用の県民割などが開始されることを期待している。

<input type="radio"/>	通信会社（社員）	・緊急事態宣言が解除されれば、通常の営業に戻り、忙しくなる。
<input type="radio"/>	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で、アーケードゲーム機器の投資は様子見となっていたが、感染の収束による状況改善が期待できる。
<input type="radio"/>	観光名所（経理担当）	・政府の目標では、高齢者に対する新型コロナウイルスのワクチン接種が完了となる頃である。高齢者の外出意欲の高まりに加えて、重症病床の使用率の低下が期待できるため、全体的に今よりも危機感が薄れてくると予想される。
<input type="radio"/>	ゴルフ場（支配人）	・緊急事態宣言の延長で行動が制限されるなか、密にならないスポーツについては、まだしばらく良くなると予想される。
<input type="radio"/>	その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設]（企画担当）	・緊急事態宣言の解除や、夏休みでの外出ニーズの高まりで、現在よりも上向くと予想される。
<input type="radio"/>	その他サービス [マッサージ]（スタッフ）	・アロマオイルマッサージで服を脱ぐため、冬よりも夏の方が来客数は増加する。
<input type="radio"/>	住宅販売会社（従業員）	・コロナ禍においても、不動産に関してはホテルや商業施設以外は堅調に推移している。新型コロナウイルスのワクチン接種により、感染の鎮静化の兆しが出てくれば、より一層活況になると予想される。
<input type="radio"/>	その他住宅 [住宅設備]（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がれば、世間の様子が変わってくると期待したいが、緊急事態宣言の延長もあり得るなかで、しばらくはつらい時期が続くそうである。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・今後も大きな変化は望めない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [花]（経営者）	・緊急事態宣言の延長で取引先の休業が続くため、売上が伸びることとはなく、景気回復には程遠い。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [時計]（経営者）	・前年の夏と同じように、マスクをして外出するという状況は考えられない。東京オリンピックの開催もあり、新型コロナウイルスの感染状況が良くなるのかどうか、今後の分かれ目になると感じる。景気が良くなるとは期待できないが、これ以上悪くならないでほしい。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [鮮魚]（営業担当）	・緊急事態宣言の解除後も期待はもてず、受注予約も全くない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [野菜]（店長）	・緊急事態宣言が延長されそうな気配であるため、厳しい状況が続く。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [呉服]（店員）	・当店は奈良にあるが、客は緊急事態宣言が出ている京都の催事に出席することを避けている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・病床使用率が下がり、営業に対する制限がなくなったとしても、来店する習慣がなくなった客に対し、来店のモチベーションを高めるには時間を要する。
<input type="checkbox"/>	百貨店（服飾品担当）	・6月20日までの緊急事態宣言の延長を受け、6月1日からは平日の営業が再開できる。それに伴い、来客数は回復が期待できるものの、新型コロナウイルスの感染状況はまだまだ予断を許さないことから、客の動きは厳しいままとなる。一方、リモートでの買物体験者が徐々に増えており、感染収束後にもつながる新しい動きが広がると予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（宣伝担当）	・休業状態が続いているため、取引先から秋冬商材の減産の報告が相次いでいる。新型コロナウイルスのワクチン接種の急拡大などがなければ、生産の改善が見込めず、売上の回復は厳しい。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種のスピードが早まらないほか、長引くコロナ禍への疲弊感、小売業や飲食業を中心とした悪影響など、ポジティブな要素が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業推進担当）	・全国民の7割程度まで、新型コロナウイルスのワクチン接種が進まなければ、現在の景気下降の動きは続くとして予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がようやく本格化したものの、高齢者への接種だけで7月中旬頃まで掛かる。一般への接種は8月から秋にかけて本格化し、多少は外食の頻度が上がるとしても、夏一杯は家庭での食事や近場でのレジャーが中心となる。また、東京オリンピックの家庭での観戦も、需要の増加につながる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・コロナ禍の収束が鍵になる。今の状況が長引けば、景気は横ばいか、悪化に向かうことが懸念される。

<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・コロナ禍の収束がみられないほか、新型コロナウイルスのワクチン接種も大きくは前進しないと予想される。前年に大きく伸びた食品の買上点数も、落ち着きがみられ、前年を割り込んでいる。レジャー関連は前年の反動で伸びているが、消費者の行動の変化は感じられない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・例年は梅雨が長引くと野菜の値段が上がるが、今年は新型コロナウイルスの影響で、少し高くても売れている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染は収束しないと予想されるため、今の状況が続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・緊急事態宣言の期間が長引くにつれて、内食や巣籠り需要は落ち着くと予想される。一方、自宅でのテレビ観戦が予想される東京オリンピック期間についても、自宅での食事が増えるという点では、今と余り変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（開発担当）	・緊急事態宣言が発出され、飲食店や百貨店などは休業要請により売上が激減している。食品スーパーもそれほど来客がなく、景気の良くなる兆しがみられない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言は解除されていると予想されるが、企業のリモートワークは定着しつつあるため、以前のような来客数には戻らない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいないため、企業のテレワークは続き、来客数は減ったままの状態となる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか見通せない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がかなり進まなければ、そう簡単には変わるとは思えない。新型コロナウイルスへの恐怖心は、全員にワクチンが行き届き、ほとんど感染者がいなくなるまでは消えない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かない限り、今のままの状態が続く。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・幹線道路沿いの店であるが、住宅街であり、客には高齢者や子供が多い。景気に影響されにくい客層のため、売上や来客数はそれほど変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がスムーズに進み、現状が良くなることを期待しているが、景気の向上につながるかどうかは不安である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・大きな変化は予想できない。周囲の飲食店もまだまだ閉まったままであるため、しばらくは今の状態が続く。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・高齢者による新型コロナウイルスのワクチン接種が7月末に完了しても、通常の状態に戻るためには、国民全体の接種がある程度進む必要がある。10月以降には、景気がある程度は回復することを期待しており、8月の帰省需要に対しても少し期待している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（経営者）	・ある程度、新型コロナウイルスのワクチンが行き渡るまでは、今のよう状況が続く。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かないことには、改善は見込めない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	・しばらくは悪い状況が続くと感じる。失業の増加や、企業の業績悪化に伴って給与が減少するため、家電の購入は、故障による買換えに限定されると予想される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、経済活動が再開しても、疲弊した経済が戻るまでには時間が掛かる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [宝石]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束すれば変わるが、そうでなければ現状のまま推移する。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [食品]（経営者）	・これから3か月以内で良くなる要因がない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [宝飾品]（販売担当）	・固定客への新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染の不安が多少減ったとしても、スムーズに売上の増加につながると思えない。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [インターネット通販]（企画担当）	・これ以上、悪くならないことを願いたい、新型コロナウイルスのワクチン接種が進まない限り、消費マインドの改善は期待できない。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [インターネット通販]（オペレーター）	・現在行っているキャンペーンの反応が余りないため、今後も期待できない。

<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が広がっており、ワクチン接種が進むにもまだまだ時間が掛かりそうである。感染のリバウンドへのおそれから、これから飲食店に何らかの要請は続くと思えるため、それが続く限り、飲食店の回復は見込めない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が増えても、異なる変異株が出てくる可能性があるため、先行きは分からない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（店員）	・緊急事態宣言が発出されているにもかかわらず、来客数が増えてきている。消費者は新型コロナウイルスを余り気にしていないように感じる。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・観光業は、新型コロナウイルスによって大打撃を受けている。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・当地区では、緊急事態宣言が更に延長される見通しのため、今後も臨時休館を続けるしかない。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・来月も予約の動きが全くなく、先が見通せない状態である。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、一時的に良くなったとしても、緊急事態宣言が解除されると、再び感染が拡大する可能性は否めない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の減少や、緊急事態宣言の解除のほか、社会全体での感染沈静化への認識などに左右される。現状ではまだ分からない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（店長）	・緊急事態宣言の解除後は回復を期待したいが、新型コロナウイルスのワクチン接種が早く終了しなければ、回復は難しい。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（支店長）	・東京オリンピックまでは緊急事態宣言が継続され、解除となっても消費喚起策は打てないため、消費マインドに変化はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・交通機関の間引き運転が増えているが、その分タクシーの利用が増えているわけではない。緊急事態宣言が解除されても、しばらく低迷が続くと感じる。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・企業関係の営業活動や会食などでの送迎が激減し、回復の見込みがない。また繁華街の人出も少なく、夜勤の営業収入は3分の1に落ち込んでいる。
<input type="checkbox"/>	通信会社（経営者）	・緊急事態宣言の影響が出る。
<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第となるため、全く予測ができない。夏までには、事業活動が行える程度に感染が収束することを祈っている。
<input type="checkbox"/>	競艇場（職員）	・緊急事態宣言の発出や、その延長により、無観客での開催や発売時間の前倒しなどで対応しているが、電話投票やインターネット投票は引き続き好調である。この先も大きな落ち込みは考えられず、現在の状況が継続すると予想される。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・緊急事態宣言の効果は、前年と比べて明らかに低下している。また、感染拡大が長期化することで、企業の体力も確実に低下している。米国や英国のように、新型コロナウイルスのワクチン接種を全人口の一定割合が終えるまでは、改善は見込めない。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広がれば、不安材料が少し払拭されるものの、急激な回復は見込めない。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・大阪府では3度目の緊急事態宣言が発出され、当面プロ野球は無観客試合となり、6月に予定されているコンサートも開催が危ぶまれる。
<input type="checkbox"/>	その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響で体調不良や不安を訴える生徒には、オンライン授業などで対応し、何とか退会を食い止めているが、今後はどうなるか分からない。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	・取引量が順調に推移し、在庫が不足気味になりそうである。今後も、景気は現状のまま推移することが予想される。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がある程度進めば好転するが、現状では厳しく、しばらくは今の状況が続く。
<input type="checkbox"/>	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・今後は失業者が増加すると予想される。不動産価格は多少の下落があるものの、景気が下向きになるような要因にはならない。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・6月も緊急事態宣言の延長が予想されるため、展示場への来場者数も低迷することが懸念される。

▲	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・通常、衣料品の販売は6月からセールの時期に入るが、今年は単価が下がっている。今のように来客数が少ないままでは、売上が伸びず、この2～3か月は厳しくなると予想される。
▲	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の状況に左右されるが、コロナ禍が収束しなければ、景気の回復は望めない。
▲	スーパー（店長）	・失業者数の増加による売上の低迷が予想される。
▲	スーパー（企画担当）	・商圏内でドラッグストアやスーパー、大型商業施設の出店が計画されており、厳しい戦いとなる。
▲	スーパー（販売促進担当）	・業種によって影響の度合いが異なるが、社会全体では景況感の悪化が避けられない。
▲	スーパー（社員）	・今後心配されるのは、コロナ禍が長引くことによる消費の減少である。
▲	衣料品専門店（店長）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響が大きく、客の動きも鈍化している。
▲	衣料品専門店（営業・販売担当）	・緊急事態宣言の影響で、周辺を歩く人も少なく、売上は激減している。
▲	衣料品専門店（販売担当）	・緊急事態宣言の延長ばかりで我慢の限界となり、人は疲れきっている。外食にも行けず、人と会うこともないため、自分を着飾る意欲も湧かない。購買意欲自体がなくなっているように感じる。
▲	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、生活に不便が発生しており、急に必要となった物は継続的に売れているが、リフォームのような需要が潜在的な商品は、優先順位が後回しになる傾向がある。また、コロナ禍での移動手段として自動車の購入が増えてきており、競合先として異業種を意識した対応も必要と考えている。
▲	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が消費者心理に悪影響を与え、消費意欲の減退につながっている。
▲	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・緊急事態宣言が延長となり、広告を出さず、接客も制限されることで、売上は厳しくなる。客もクーポンがなければ、購買意欲が上がるらない。
▲	その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・国民の50%が新型コロナウイルスのワクチン接種を終えるまでは、社会のムードは変わらない。
▲	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染が収束しないため、来客数がかかり減少している。この先も回復する見込みはない。
▲	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・必要性は理解しているが、個人の良識に頼る部分が多過ぎるなど、国の対策にはどうも納得できない。
▲	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの変異株の感染拡大による影響が大きく、ワクチンの接種も進まないなかで、景気の回復する要素が見当たらない。
▲	美容室（店長）	・緊急事態宣言が解除されても、新型コロナウイルスのワクチンが普及するまでは、客は戻らない。資金繰りが非常に厳しく、経営が困難な状況となっている。
▲	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・マンションは引き続き堅調な動きが予想されるが、戸建て住宅については、世界的な木材価格の高騰による影響で、着工の遅れや販売量の減少懸念が高まっている。業界全体として、市況の悪化リスクは高まっている。
×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・今後、東京オリンピックが開催されるかどうかは不明であるが、仮に開催されるとすれば、開催後には新型コロナウイルスの感染者数の増加が懸念される。開催されなかったとしても、一時は感染者数が減るかもしれないが、その後は全く不透明である。数か月以内に感染が落ち着くとは到底思えず、景気の回復は当面見込めないと強く感じる。
×	一般小売店〔花〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染が収まらず、影響は更に広がる。
×	百貨店（売場主任）	・全ては新型コロナウイルスの感染状況次第であり、ワクチン接種の迅速な進行による、感染の抑制を期待している。何よりも緊急事態宣言の解除が、回復の1つの目安となるが、今のところは数か月先の見通しも非常に厳しいと言わざるを得ない。
×	スーパー（経営者）	・緊急事態宣言によって人流が抑えられ、観光業のウエイトが大きい当地域では、様々な業種に影響が出ている。それに伴って収入が減り、消費も落ち込んでいる。

	×	衣料品専門店（経営者）	・ 婦人服は今後も売れない。飲食店への補償は分かるが、衣料品店も補償してほしい。このままでは衣料品の小売業は事業の継続が難しくなる。
	×	乗用車販売店（経営者）	・ 売れ筋は、価格の安いモデルや部品が中心である。今は、車で一体どこに行くのかという雰囲気がある。
	×	住関連専門店（店長）	・ 堅調であったインターネット通販の売上も、緊急事態宣言の発出以降、減少し始めた。仕入価格の値上げや客離れ、輸送の遅延など、どれをとっても日本のビジネスの土台が揺らいできたと実感している。特に、客離れは4月から顕著となっており、新型コロナウイルスのワクチン接種の遅れや、緊急事態宣言の長期化による影響は否めない。
	×	都市型ホテル（客室担当）	・ 新型コロナウイルスの感染収束の見通しが立たないほか、ワクチンの接種も遅れている。
	×	タクシー運転手	・ 良くなるように祈るしかない。
	×	タクシー運転手	・ 来月も大阪府では緊急事態宣言が延長となる見込みのため、まだまだこの状況が打破できる要素は見当たらない。
	×	観光名所（企画担当）	・ 4月25日に緊急事態宣言が発出され、再び閉館となった。期間が延長されるような報道もあり、全く先が見えない状況である。仮に規制が緩和され、一部で営業が可能となっても、来場者は少なく、非常に厳しい状況が続くことになる。
	×	住宅販売会社（経営者）	・ 今すぐ平常時に戻ったとしても、経済の動きは2～3か月後にしか戻らない。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・ 新型コロナウイルスの影響で取引先を訪問できず、営業的には痛手となっているが、注文の製品が順調に入荷し、ある程度の売上と利益は確保できそうである。
	◎	金属製品製造業（開発担当）	・ 繁忙期に差し掛かってきている。
	◎	電気機械器具製造業（経営者）	・ コロナ禍での景気は、業種による好不調が完全に2極化している。当社のような工業製品のメーカーは良い影響を受けており、それも好調が継続している。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	・ 引き合い件数が増えてきたため、今後は受注が増えると予想される。
	○	建設業（経営者）	・ 問合せが増えれば、受注量も徐々に増えてくる。
	○	輸送業（営業担当）	・ 巣籠り需要で通販の利用が増え、運送会社は利益が増えているが、飽くまでもスポット的な利益にとどまる。
	○	輸送業（商品管理担当）	・ 配達で減少しているのは酒類であり、緊急事態宣言が解除されれば、酒類の売上は改善される。
	○	経営コンサルタント	・ 今後は回復していく企業と後退していく企業に分かれていく。当社も、回復に向けて努力し、発展しつつある企業を選んで支援していく。
	○	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・ 新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、徐々にではあるが、政府による自粛要請や自主的な行動制限の緩和につながる。
	□	食料品製造業（営業担当）	・ 東京オリンピックの開催次第では、人の流れが変わってくるが、東京以外の地域では余り変わらない。
	□	繊維工業（団体職員）	・ 緊急事態宣言の動向や、新型コロナウイルスのワクチンの接種状況に左右される。
	□	繊維工業（総務担当）	・ 新型コロナウイルスの影響で、室内競技用の靴下がいまだに売れない状態が続いている。一方、屋外競技用の商品の動きは、ほぼ回復したように感じる。
	□	繊維工業（総務担当）	・ 新型コロナウイルスのワクチン次第であるが、安心感が高まらなければ、購買意欲の増加にはつながらないと感じる。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・ ひとまず緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの影響が落ち着くまでは、先行きは見通せない。
	□	化学工業（管理担当）	・ 受注量については、取引先からの発注予定は現状並みとの情報を得ている。ただし、原材料である化学品の値上がりが激しいため、利益は大幅な減少を見込んでいる。
	□	石油製品・石炭製品製造業（生産管理）	・ 今の好調は、少なくとも3か月は続く。
	□	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・ 緊急事態宣言は6月20日まで延長となり、先行きの景気については予想が難しい。新型コロナウイルスのワクチン接種の効果に期待したい。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・ 当社は設備投資に関連する装置を扱っているが、今の状況では設備増強の気運はまだ感じられない。しばらくは、今のような状況が続くと予想される。

□	一般機械器具製造業（設計担当）	・当業種では新型コロナウイルスの影響が少ないため、状況は大きく変わらない。
□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・緊急事態宣言下でも実売には余り影響がなかったため、今後も大きな変化はないと予想される。一方、東京オリンピックが予定どおりに開催されれば、テレビの売行きは今よりも伸びる。
□	電気機械器具製造業（営業担当）	・今後の新型コロナウイルスの影響が気になる。
□	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンの効果が出るのは、早くても秋以降である。業種や業態によって、業績の回復時期や速度も違う。感染拡大の影響を受けない企業や、体力のある企業による設備投資に期待している。
□	輸送業（営業担当）	・米国で材木の買占めが発生し、家具に使用する材木が不足している。
□	金融業〔投資運用業〕（代表）	・東京オリンピックが終わるまでは、引締めや我慢という生活を強いられるため、大きく景気が浮揚するとは考えにくい。
□	金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の大規模会場を増やすなど、今後は接種率が上がってくるため、今が景気の底と予想されるが、この状態はもう少し続きそうである。
□	新聞販売店〔広告〕（店主）	・新型コロナウイルスの感染収束は見込めない。
□	広告代理店（営業担当）	・Web媒体、紙媒体共に、広告売上は2年前の水準を僅かに下回っている。
□	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチンが普及する、年末頃までは厳しいと感じる。
□	司法書士	・新型コロナウイルスの変異株への恐怖が増している。ワクチンの効果が現れるのも時間が掛かるため、良くなるとは考えられない。
□	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・なかなか景気が良くなることはない。
□	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・梅雨入りが予想よりも早く、暑さが長引きそうなため、少し良くなりそうである。
□	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・輸入部品の入荷遅れが発生している。今後は新型コロナウイルスのワクチン接種状況などにも左右される。
▲	化学工業（経営者）	・販売額は2年前と比べて6%程度減少している。また、緊急事態宣言の延長を受けて、受注額も11%程度落ち込んでいる。
▲	プラスチック製品製造業（経営者）	・仕入先の状況を聞いても、雰囲気良くない。過剰在庫を避けるための生産調整を行っており、資材の入荷に時間が掛かることがある。それに伴い、材料の発注から納品までのサイクルが長くなっており、月次の収支が合わず、翌月への持ち越し案件が増えている。
▲	金属製品製造業（経営者）	・半導体不足の影響で、自動車関連を中心に6～7月の受注の内示が減少している。
▲	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言が発出、延長され、5月下旬に予定していた大型イベントが中止となったため、秋冬商材の商談に大きな影響が出ている。
▲	建設業（経営者）	・木材や鉄材の価格が高騰しているため、客の予算超過が心配である。また、これ以上木材の不足が深刻化すれば、計画の延期というケースも出てくると予想される。
▲	金融業（営業担当）	・コロナ禍が続いており、先が見えない。高齢者の新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったため、国民全員に早く行き渡ること、感染の収束につながってほしい。
▲	経営コンサルタント	・徐々にストックを使い果たし、新型コロナウイルスの影響に耐えられない事業者が出てくると予想される。
×	食料品製造業（従業員）	・ここへきて緊急事態宣言が延長されるようであれば、業態にもよるが、周囲からは廃業の声も少しずつ出始めている。
×	化学工業（企画担当）	・企業努力によって一時的に収益は改善したが、大手食油メーカーが今年3度目の値上げに踏み切ったように、食用の原料油が異常に高騰しており、年末まで上がり続ける見込みである。
×	金属製品製造業（営業担当）	・鋼材の価格が高騰するなかで、価格転嫁が進まず、採算の大幅な悪化が予想される。
×	通信業（管理担当）	・緊急事態宣言の延長により、更に景気は冷え込む。



	×	不動産業（営業担当）	・兵庫県でも緊急事態宣言が延長されそうのため、今後も景気の悪化が続く。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、景気回復の見通しが立たない。
雇用 関連  (近畿)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（支店長）	・東京オリンピック次第であるが、少し回復するのではないかと予想される。
	○	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・東京オリンピックの開催がどうなるか分からないものの、高齢者への新型コロナウイルスのワクチン接種が滞りなく完了すれば、重症病床にも余裕ができる。緊急事態宣言を出す必要もなくなり、今苦しんでいる産業も少しずつ需要が増えていくと予想される。
	○	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・緊急事態宣言も再延長の可能性が高く、求人数がすぐに上向くとは考えられない。ただし、少なくとも新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向にあり、今が景気の底ではないかとみている。遅ればせながら、ワクチン確保の見通しも立ち、医療従事者や高齢者に対する接種も始まっている。これからのワクチン接種の進捗次第であるが、これ以上悪い状況になると考えられず、景気はやや上向くと予想している。
	○	職業安定所（職員）	・今後2～3か月間は、今回の緊急事態宣言の効果による新型コロナウイルスの感染者数の減少や、ワクチン接種の拡大、東京オリンピックの開催による盛り上がりなどが期待され、経済や雇用面に好影響をもたらすと予想される。
	○	民間職業紹介機関（職員）	・求人企業からは、少しずつ仕事の依頼が入っているという声を聞くため、それに伴い、求人数も増加することが予想される。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・3か月後の8月頃は、企業の採用選考がピークを過ぎ、次のシーズンに入る時期のため、追加募集が出てくる可能性がある。また、学生も公務員試験の結果次第で民間企業の就職を考える時期となるため、企業、学生共に動きが出てくると予想される。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・派遣先のなかには人員を増やす動きもみられるが、まだ限定的である。まだまだ業績の拡大に伴う増員の話は少なく、人の採用には慎重になっている。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・緊急事態宣言は再延長となる見込みであるなど、不安材料しかない。
	□	人材派遣会社（役員）	・新型コロナウイルスへの対応次第である。
	□	職業安定所（職員）	・緊急事態宣言が延長された場合、サービス消費の冷え込みから、関連業界を中心に更なる経営の悪化が進み、失業者数の増加が懸念される。また、この4～5月は雇用調整助成金の申請件数も増加しており、このまま企業活動の停滞が続いた場合、企業の採用活動の抑制から、再就職環境も厳しさが増すと予想される。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染第4波の長期化で消費が低迷し、消費者の間では自粛疲れがまん延しているため、景気回復は見込めない。
	□	職業安定所（職員）	・自動車の部品製造に関する求人が増えており、それに伴う派遣求人のほか、通販の配達関連の求人で改善が見受けられる。ただし、求人全体はまだまだ伸び悩んでおり、求職者も増加傾向にあるため、景気回復は見込めない。
	□	民間職業紹介機関（営業担当）	・引き続き、新型コロナウイルスに関する特需があると予想される。
	□	民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、好転する材料が見当たらない。
	▲	職業安定所（職員）	・緊急事態宣言の延長が想定されるため、宿泊業や飲食サービス業では更なる業績の悪化が懸念される。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・東京オリンピック・パラリンピックが実際に開催されるのか、緊急事態宣言がどうなるのか、先行きが不透明である。企業による広告出稿意欲は全く感じられない。
×	学校〔大学〕（就職担当）	・緊急事態宣言の継続で、小売やホテル、観光業界の回復が遅れ、その業界を目指している学生の行き場がなくなっている。全体的に経済活動が縮小していると感じる。	